

目 標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
	(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
	(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
	(3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

●学習内容

1 学期	2 0 時間	2 学期	3 0 時間	3 学期	2 0 時間
・曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう 【表現・歌唱】	4	・日本や諸外国歌曲に親しみ、表現を工夫して独唱しよう【表現・歌唱】	4	・ミュージカル・ナンバーを歌おう 【表現・歌唱】【鑑賞】	6
・ボディ・パーカッションに挑戦しよう 【表現・器楽】	4	・表現を工夫してギター演奏をしよう 【表現・器楽】	16	・作曲家の生涯と作品をたどろう 【鑑賞】	4
・曲の特徴を理解して歌おう 【表現・歌唱】【鑑賞】	4	・表現を工夫してヴォイス・アンサンブルをしよう 【表現・歌唱】	4	・オペラに親しみアリアに挑戦しよう 【表現・歌唱】【鑑賞】	6
・「コード進行」をもとにメロディを作ろう 【表現・創作】	4	・和楽器に親しみ、演奏に挑戦しよう 【表現・器楽】	4	・様々な器楽アンサンブルを楽しもう 【表現・器楽】	4
・音楽を形づくっている要素に注目して曲の良さや美しさを探ろう【鑑賞】	3	・世界の諸民族の音楽を知ろう 【表現・歌唱】【鑑賞】	2		
・能や謡に親しもう【表現・歌唱】【鑑賞】	1				

教材
教科書:「MOUSA1」教育芸術社 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
【表現・歌唱、器楽】歌唱(独唱、合唱など)、器楽(ギター、三線など)の実技では教科書、プリント教材を使用し、基礎的な技能の習得を目指します。 【表現・創作】創作では、自分なりに音のつながりや、リズムなどの要素について考え創作する技能を学びます。 【鑑賞】鑑賞では、音楽を聴いたり、映像を観るとともに、文化的・歴史的背景などについても学びます。 表現分野では実技課題に取り組みます。学期の終わりには実技テストを実施します。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点	知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる(できる)	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。	・音楽の幅広い活動に関心を持ち、主体的・協働的に取り組もうとしている。 ・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。
	習得する(わかる)	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性についておおむね理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能をおおむね身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したこととの関わりについて考えている。
評価方法	実技テスト(歌唱、器楽)、課題提出(創作)、ワークシート(歌唱、器楽、鑑賞)	ワークシート、学習記録、演奏実技	ワークシート、学習記録、授業の取組状況

単元別 評価規準

【表現】歌唱・器楽

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ●以下の事項について理解している。 <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり。 ・言葉の特性と曲種に応じた発声の関わり。 ・曲想と楽器の音色や奏法との関わり。 ・様々な表現形態による歌唱・器楽表現の特徴。 ●以下の技能を身に付けている。 <ul style="list-style-type: none"> ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、奏法、身体の使用方。 ・他者との調和を意識して歌う、演奏する。 ・表現形態の特徴を生かして歌う、演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって歌唱表現、器楽表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱、器楽の学習活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。 ・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解し、技能を身に付けている。	上記の事項について、自己のイメージをもって歌唱・器楽表現をしている。	・主体的・協働的に歌唱、器楽の学習活動に取り組もうとしている。

【表現】創作

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 ・反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けている。 ・旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付けている。 ・音楽をかたちづくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創作の学習活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。 ・自らの学習状況を把握し、理解を深め、技能の向上にむけて学習しようとしている。
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解し、技能を身に付けている。	上記の事項について、自己のイメージをもって創作表現をしている。	・主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

【鑑賞】

評価の観点		知識・技術	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 ・我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 ・自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 ・音楽表現の共通性や固有性について考え音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の学習活動に関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。 ・自らの学習状況を把握し、理解を深めようとしている。
	習得する (わかる)	上記事項についておおむね理解している。	上記事項についておおむね理解している。	・主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。